



## デュポン™ タイベック®

# クラフツメンスクール 視察レポート

日本に若い職人をもっと増やし、よりよい家づくりを支えていきたいという信念を持って発足した一般社団法人クラフツメンスクールによる『基礎技能養成プログラム』がこの春にスタート。第一期生として、11名のサイディング工事の新人職人が集まり、私たちも受講生たちと一緒に1日を過ごしなが、当法人理事の安達 智氏へインタビューさせていただきましたので現場の様子と共にレポートします。



クラフツメンスクール URL  
<http://craftsmenschool.org/>

## ■クラフツメンスクールとは？

一般的に見習いの新人の場合、掃除、材料運び、施工の補助を中心とした仕事になり、なかなか実際の施工を自分で行う機会がありません。また、現場が忙しくなるほど親方が丁寧に現場の仕事を教えることは難しく、新人は、仕事の楽しさを理解する前にやめてしまうケースも多くあるのです。こうした現状を変えるために、クラフツメンスクールで基礎的なことを教え、現場で活躍できる新人を育成することを目的に活動しています。



教科書は外装施工に関して細部まで網羅。

## ■具体的にどのような講座なのでしょう？

合計10日間にわたる講座となっています。現場で使う工具や材料、現場マナー、コミュニケーション、安全対策について学び、実際の住宅と変わらぬ大きさの模擬棟でサイディング工事をひと通り体験し、すべての工程を頭と体で理解することができます。そして、ここでは何度も失敗し、乗り越えていく場としています。



実物大の模擬棟で施工を一通り行う。

## ■ 10日で1人前になれるのでしょうか。

いえ、そんなわけではないです(笑) 0.2人前ぐらいでしょうか。それでも1人前の仕事をひと通り経験させ、それを反復させますので、見て習えを1年続けた人と同じぐらいにはなれると思います。何より経験則も身につき、実践で出来ることが増えるはずです。



佐藤講師による熱心な指導。

## ■ 講座を振り返って。

私たちが研修へ訪問したのは研修の6日目、既に透湿防水シート、胴縁、板金水切り、ハットジョイナーが施工され、これからサイディングを施工しようとするところでした。サイディングを初めて切断し、取り付けの姿はまだまだぎこちなく、角にヒビを入れてしまうこともありました。それでも講師による丁寧な指導を受けながら、繰り返し施工していくうちに手際も良くなっているのが分かるほどでした。



受講生は10日間、同じ下宿先で共に過ごしながら受講しています。そのため、みな和気藹々と受講されている姿がとても印象的でした。数年後に受講生の皆さんが、一人前の職人になっていることを期待しつつ、クラブツメンズクールの活動を引き続き応援していきたいと思えます。

ユーザーサポートクラブ  
ウェブサイトがより使いやす  
くなってリニューアル!



### 編集後記

こんにちは。担当の市川です。ニュースレター第9号いかがでしたでしょうか。見て習えという文化が強い職人の世界におい

て、このようなスクールが出来たことは興味深いと思ひ視察させて頂きました。ニュースでは寿司職人学校が人気を集めていると聞きましたが、少子高齢化やビジネスの効率化の時流からこ

のようなサービスも出てきているのではないのでしょうか。今後もユーザーサポートクラブでは、より良い施工と製品をご案内して参りますのでご支援のほどよろしくお願い致します。

※この「CLUB NEWS LETTER」に関するご意見、ご要望があれば、ぜひこちらへお寄せください：takashi.ichikawa@dupont.com